

小学校第3学年算数科学習指導案

指導者 横田 康浩

1 単元名 わり算

2 単元の目標と観点別評価規準

除法の意味について理解し、それをを用いることができる。

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
除法の意味や計算の仕方を、乗法や減法と関連付けて考えようとしている。	簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考えている。	除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。	包含除や等分除など、整数の除法の意味について理解している。

3 単元について

(1) 教材について

本単元では初めて除法について学習する。等分除と包含除について取り扱うが、包含除の方が操作の仕方が容易であり、「除く」という意味に合致する。また、「割り算」という意味からすると等分除の方が分かりやすい。したがって、除法の導入に当たっては、これらの特徴を踏まえて取り扱うようにする必要がある。

(2) 児童の実態について

説明に関する意識調査（平成23年7月1日実施 調査人数29人）から、「算数で、自分の考えを説明することは得意ですか。」という質問について、得意が3人、やや得意が14人、やや苦手が10人、苦手が2人と回答しており、半数近くの児童が説明することに苦手意識をもっている。そこで、おはじきなどを操作したり、身の回りのものを取り扱ったりするなど、具体物を用いながら説明する活動を取り入れる。

4 単元の指導計画（11時間扱い）

第1次 1人分は何こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

時	学 習 内 容	関	考	技	知	観点別評価規準
1 本時	等分除の場面をとらえ、除法の意味について理解する。		○			除法の場面を図や具体物などを用いて考えている。 ○ 除法が用いられる場合について知り、除法の意味について理解している。
2	除法の答えは乗法九九を用いて求められることを理解し、除法の計算をする。				○	等分除の答えは、乗法九九を用いて求められることを理解している。

第2次 何人に分けられる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

第3次 0や1のわり算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

第4次 倍とわり算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

第5次 答えが2けたになるわり算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3時間

5 本時の授業

(1) 目標

等分除の場面を図や具体物などを用いて考え、等分除の意味を理解することができる。

(2) 準備・資料

いちごの模型、おはじき、説明お助けシート、発表シート

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点・評価
<p>1 12個のいちごを3人に配る場面について考える。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いちごが12こあります。3人で同じ数ずつ分けると1人分は何こになるでしょう。</p> </div> <p>学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分け方を考えよう。</p> </div> <p>3 同じ数ずつ分ける方法を考える。</p> <p>4 自分の考えをグループで説明し伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきを使って一つずつ順番に配る。 ・図を使って、矢印で表す。 ・引き算の式を使って求める。 ・1人分の数を1個ずつ増やし、12個になる数をさがす。 ・1人分×人数＝全体の個数から $\square \times 3 = 12$で、\squareを求める。 <p>5 全体で説明し伝え合う。</p> <p>6 除法の式の表し方と、読み方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>12このいちごを、3人で同じ数ずつ分けると1人分は4こになります。</p> $12 \quad \div \quad 3 \quad = \quad 4$ <p>(全部の数) (人数) (1人分の数)</p> </div> <p>7 問題を解く。</p> <p>8 自己評価カードを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に12個のいちごの模型を異なる数ずつ分けた場合を提示し、同じ数ずつ分ける目的意識をもたせる。 ・「3人で同じ数ずつ分ける」ことを確認する。 ・何を使ったら解決できそうか発表させ、見通しをもたせる。 ・自分で考えた分け方について「説明お助けシート」を参考にして説明を書くよう指示する。 ・4人グループで自分の考えを説明させ、自分の考えと比較して似ている点や異なる点を意識しながら聞くように伝える。 ・必要に応じて実際におはじき等を操作しながら説明させる。 ・代表者は、別の考えになるように、教師が意図的に指名する。 ・代表者の板書を見て、それを別の児童が説明していく形式で進める。 <p>㊦ 除法の場面を図や具体物などを用いて考えている。</p> <p style="text-align: center;">(観察, ノート, 発表シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除法の式の表し方と、読み方を言葉の式と対応させながら確認する。 <p>㊧ 除法が用いられる場合について知り、除法の意味について理解している。</p> <p style="text-align: right;">(観察, ノート)</p>